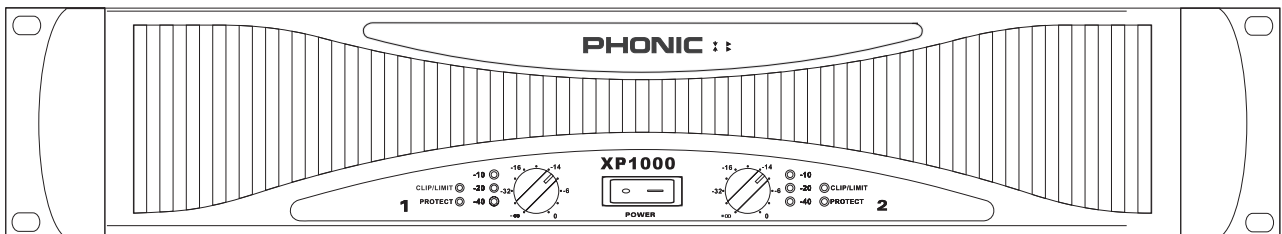


PHONIC

XP 600
XP 2000
XP 3000

XP 1000
XP 2100
XP 3100

POWER AMPLIFIER



XP1000

取扱説明書

XP 600/1000/2000/2100/3000/3100 POWER AMPLIFIER

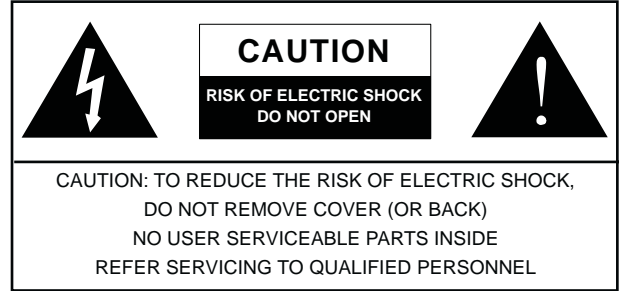
CONTENTS

基本性能	3
冷却ファン	3
ご注意	3
フロントパネル	4
リアパネル	5
仕様	6
寸法	7
ダイヤグラム	8

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

基本性能

- ・頑丈なトロイダル出力トランス搭載
- ・スピーカーを保護するためのスイッチ式入力ピークリミッター/ハイパスフィルター(30Hz-50Hz)
- ・2 ゲインコントロール
- ・モード選択:ステレオ/パラレル/ブリッジモノモード
- ・Ground Liftスイッチ
- ・シグナルインジケーター(-40/-20/-10)及びクリップ/プロテクトインジケーター装備
- ・ブリッジモノ/パラレルモード用インジケーター
- ・ローノイズ・アクティブバランス入力
- ・XLR/TRS入力端子
- ・Speakon出力端子
- ・2つのスピード冷却ファン
- ・XP600/1000:2uラックスペース
XP2000/XP2100/XP3000/3100:3uラックスペース

冷却ファン

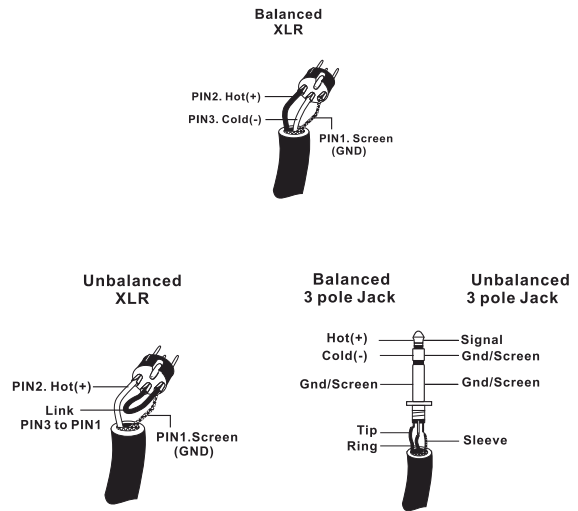
電源を入れると、2つの変速冷却ファンが作動します。冷却ファンからの空気は、フロントパネルから、リアパネルへと流れるため、フロントパネルにある換気口は塞がないで下さい。ラックマウント時には、空気の流れを止めることの無いよう、フロントパネル前にスペースを空けて下さい。空気の循環を妨げると、冷却ファンが故障する恐れがあります。

また冷却ファンの故障の要因として、傾いた状態での使用、電源コードを束ねる、冷却ファンへの直接の衝撃による損傷などが挙げられます。

ご注意

XPシリーズはあらゆるデバイスのラインレベル出力を受信することが可能です。下図のように、バランス/アンバランス、(floating, ground-referenced sources)に合うように曲げることができます。

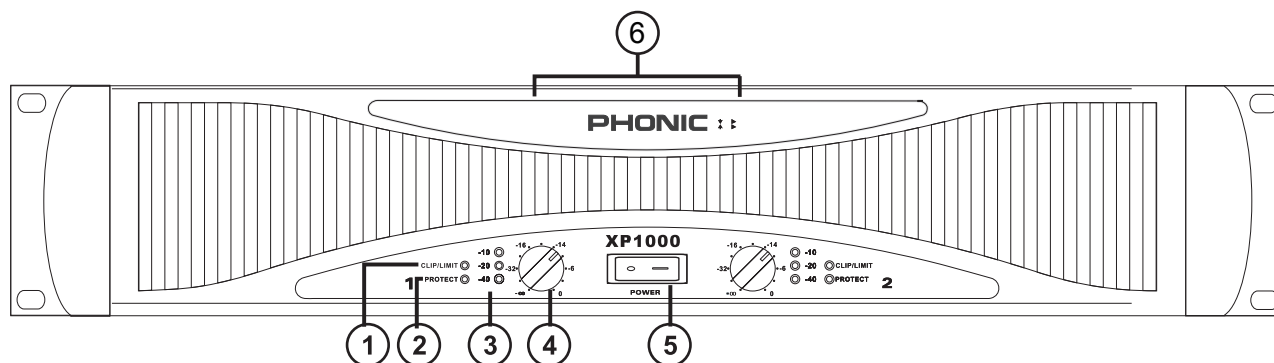
INPUT WIRING



OUTPUT WIRING

SPEAKON PIN OUT

CH1				CH2			
PIN	CH	PIN	CH	PIN	CH	PIN	CH
1+	1	2+	2	1+	2	2+	NA
1-	1	2-	2	1-	2	2-	NA
1+	BRG+	2+	BRG-				



フロントパネル

1. クリップ/リミットインジケータ（赤色）

入力信号レベルの設定が高すぎて音が歪んでしまう状態に近づくとLEDが点灯します。この場合、システム上での音量限界値と考えられますので、LEDが消えるまでゲインコントロールを調整してください。

2. プロテクトインジケータ（黄色）

XPシリーズのパワーアンプには、電源オン時や異常発生時に、回路の損傷を防ぐための保護機能が搭載されています。

電源をオンにすると、このインジケータが数秒間点灯します。インジケータが消えると、保護リレーは閉じられ、スピーカーとの接続が可能になります。

また、このインジケータは接続しているスピーカーがショートしたり、負荷がとても低い際にも点灯します。その際、正常な環境に戻るまで、インジケータは点灯し続けます。

また、アンプのヒートシンクが熱くなりすぎた際は、すぐに電源を切り、アンプ周りの換気を良くし、ゲインを下げてください。電源オフ時には冷却ファンは作動しませんので、十分に熱が無くなったのを確認した上で、再度電源を入れて下さい。

3. シグナルインジケータ（緑色）

各チャンネルの音声信号を-40,-20,-10の3段階で表示します。またノイズによって、このインジケータが光ることもあります。

4. ゲインコントロール

左右のノブで、各チャンネルのゲインを調節することができます。ノブには戻り止めがついています。

5. 電源スイッチ

本体の電源のオン、オフを行います。XPシリーズはパワーオンミュート機能がついていますが、電源をつける前に、ゲインつまみを最小値にして下さい。

6. ディスプレイ

ブリッジモノモードに切り替えると、Phonicロゴの隣のブリッジ用ライトが赤く点灯します。パラレルモード時は、同ライトが黄色に点灯します。

リアパネル

7.ファン

適切な温度が保つ為、自動的に作動します。フロント、リアパネルにある換気口を塞がないでください。熱気はリアパネルから発散されますので、十分に換気の良い所に設置して下さい。

8.電源コード

電源コードをコンセントに接続して電源を供給します。

9.シャーシグランド・ポイント

グラウンドループを回避するため、他デバイスと共有できるグラウンドポイントです。

10.出力端子

バインディングポスト及びSpeakonコネクター出力端子。U字型端子、裸線を使用する際は、束が緩むことのないようしっかり固定してください。

11.入力端子

ミキサーなど外部機器の出力信号を入力するXLR及び1/4"TSRフォン入力端子です。

12.グラウンドリフトスイッチ

シャーシグランドと回路を分離することができます。通常はこのスイッチを"GROUNDING"にします。"FLOATING"にいと、グラウンド上の衝突を避けることはできませんが、他の部品のグラウンドに依存することとなります。他の部品に欠陥があると、音質に影響を及ぼしたり、電気系統に故障が生じ、スピーカーにダメージを与える可能性がありますので、通常はスイッチを"GROUNDING"してご使用下さい。

13.リミッタースイッチ

このスイッチをオンにすると、スピーカーを保護するため、入力信号にピークリミッターがかかります。

14.HPF(ハイパスフィルター)スイッチ

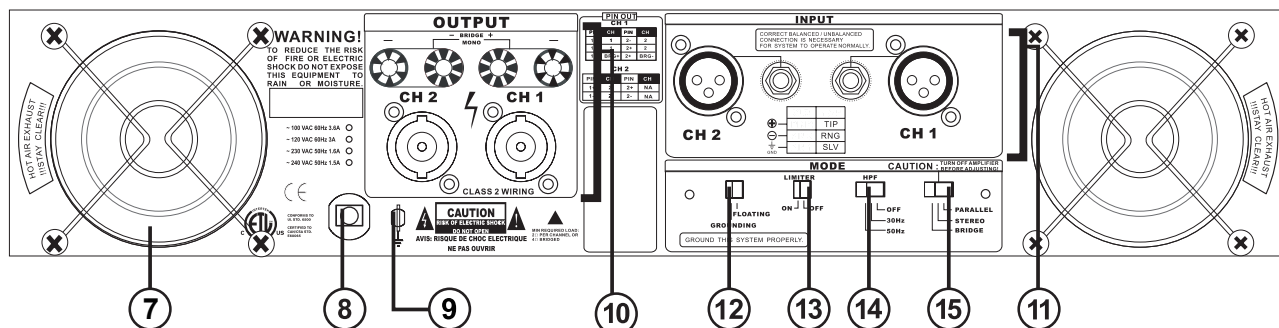
30Hzまたは50Hz以下の信号を通さないハイパスフィルターがかかります。

15.モード選択スイッチ(パラレル/ステレオ/ブリッジモノ)

パラレル→1つの入力に対して独立した2つのアンプとして駆動します。ステレオ→いわゆるステレオアンプです。ブリッジモノ→高出力のモノラルアンプとして駆動します。

動作モードを変更する際は、必ず電源を切り、下記の手順に従ってください。

- 1.電源を切ります。
- 2.4ohm以上のスピーカーをアンプの出力端子(赤)に接続します。
- 3.チャンネル1には、1入力信号のみが接続されていることを確認します。
- 4.モードを変更します。
- 5.両チャンネルのゲインを最小にし、電源を入れます。
- 6.ゲインを少しずつ上げ、適切な値に設定します。

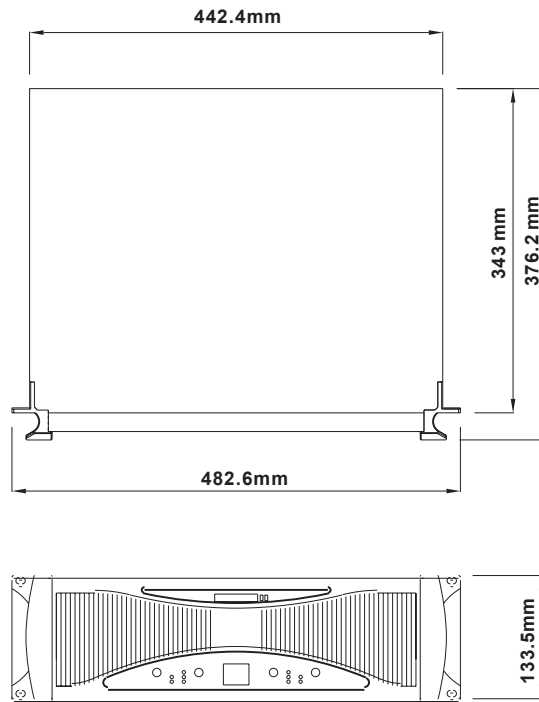


仕様

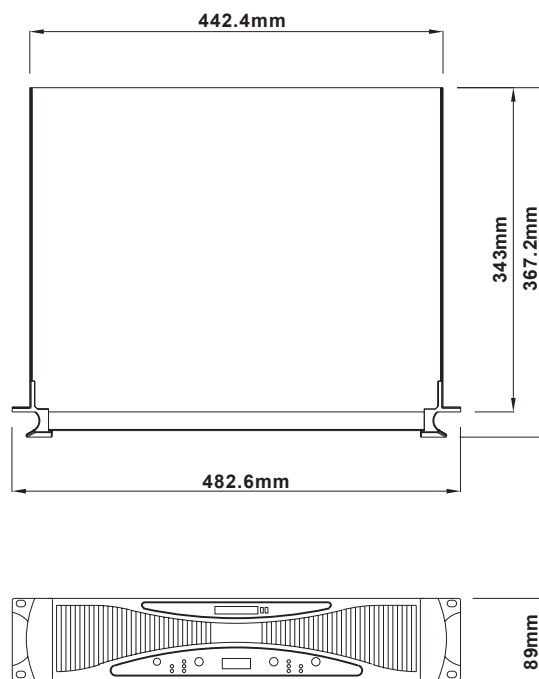
	XP 600	XP 1000	XP 2000 / XP 2100	XP 3000 / XP 3100
ステレオモード (両チャンネル)	Continuous Average Output Power Per Channel			
8Ω 20Hz-20KHz 0.03% THD	125W	250W	400W	600W
4Ω 20Hz-20KHz 0.05% THD	200W	400W	600W	1000W
8Ω EIA 1KHz 1% THD	140W	275W	450W	650W
4Ω EIA 1KHz 1% THD	220W	440W	660W	1100W
2Ω EIA 1KHz 1% THD	280W	560W	960W	1400W
ブリッジモノモード	Continuous Average Output Power			
8Ω 20Hz-20KHz 0.1% THD	400W	800W	1200W	2000W
4Ω 1KHz 1% THD	560W	1120W	1920W	2800W
入力感度 @ 8Ω	1 Vrms	1.4 Vrms		1.73 Vrms
入力感度 @ 4Ω	0.9 Vrms	1.25 Vrms	1.23 Vrms	1.58 Vrms
ノイズ (unweighted 20Hz-20KHz below rated output)	106 dB		107 dB	
歪み (SMPTE-IM)	<0.01%		<0.02%	
Damping Factor	>200 @ 8Ω		>500 @ 8Ω	
出力回路	Class H Amplifier			
フィルター	High pass filter (30Hz, 50Hz)			
周波数特性	20Hz-20KHz, 0/-1dB, -3dB points: 5Hz-100KHz			
入力インピーダンス	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced			
冷却ファン	Dual continuous variable-speed fans, front-to-rear air flow			
コネクタ	Input: XLR & 1/4" TRS jacks Output: Speakon & binding posts			
インジケータ	Parallel: Green backlight icon; Bridged: Red backlight icon; CLIP/LIM: Red LED; PROTECT: Yellow LED Green LED for -10dB, -20dB and -40dB Signal Lights			
保護回路	Short circuit, thermal, subsonic, RF protection, Output DC offset, Heatsink and transformer over-heat protection, Power on/off muting, Soft start power on			
ゲイン	32x (30dB)		40x (32dB)	
消費電力	150W	293W	880W	1460W
寸法 (W x H x D)	482.6 x 89 x 367.2mm		482.6 x 133.5 x 376.2mm	
重量	15kg	16kg	21kg	23.3kg

寸法

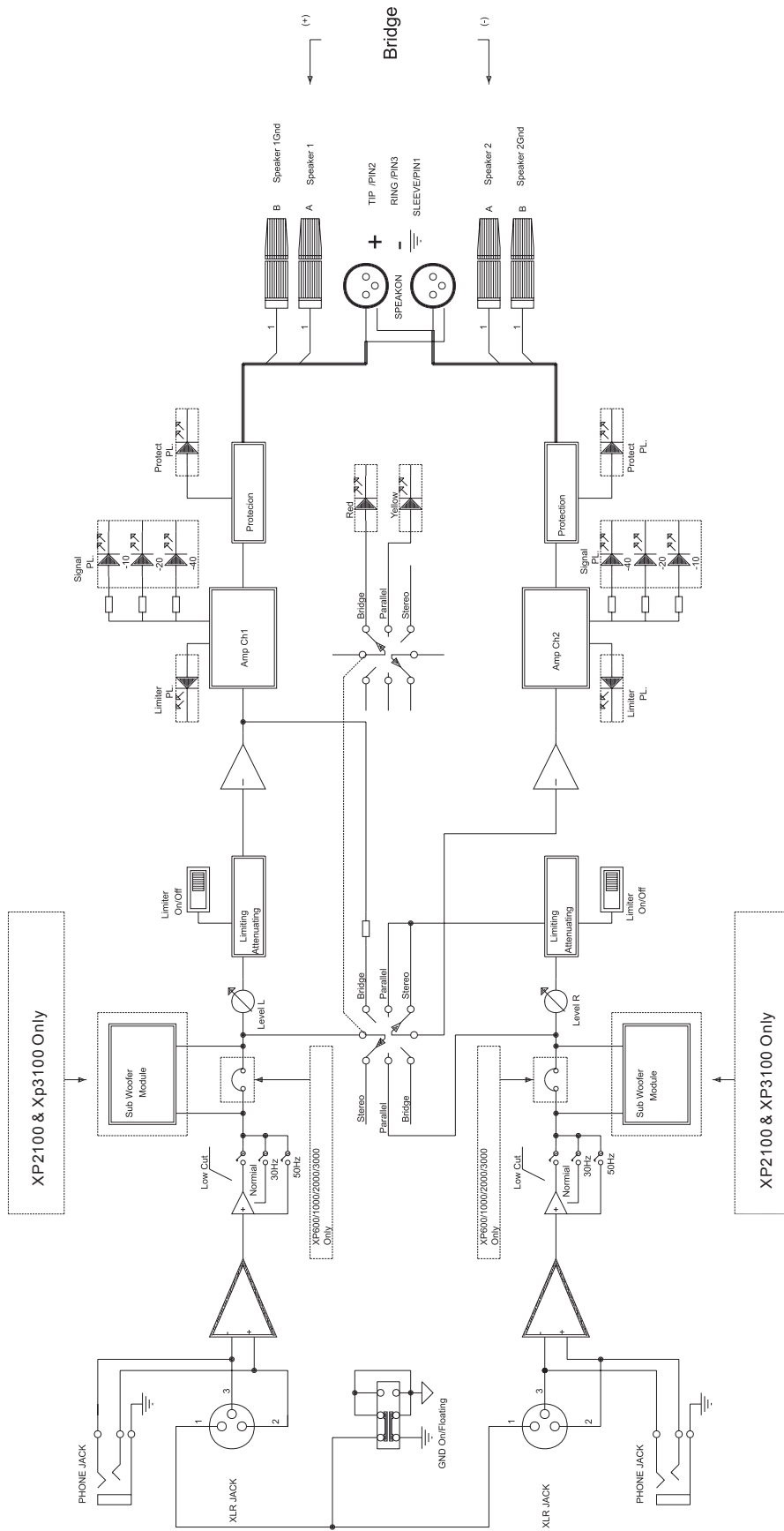
XP2000/2100/3000/3100



XP600/1000



ダイアグラム



PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/